

2019年11月期 第2四半期決算説明会

2018年12月1日～2019年5月31日



sala
SALA GROUP

2019年 7月 18日

株式会社サーラコーポレーション

2019年11月期 第2四半期業績と通期業績予想



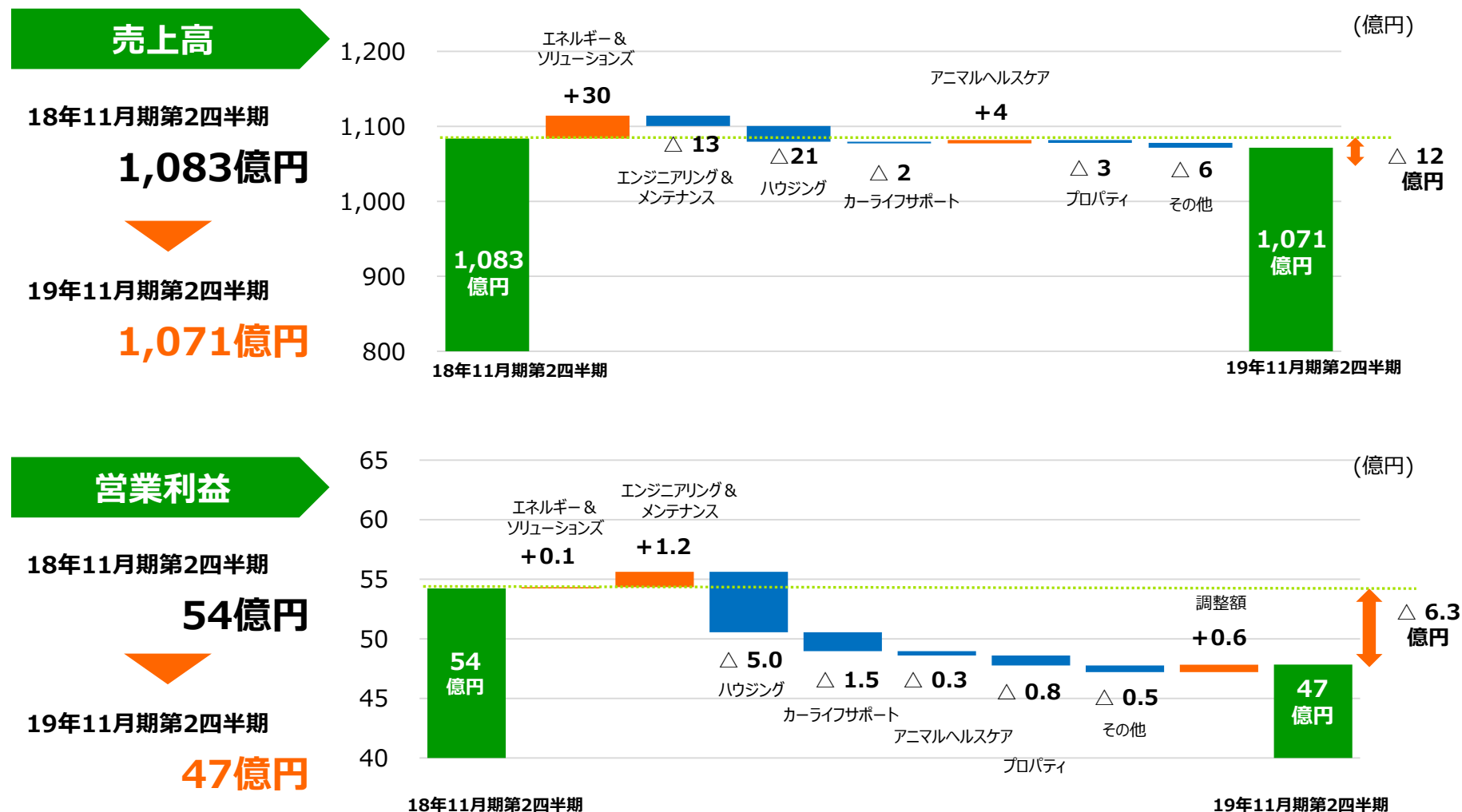
2019年11月期第2四半期決算：減収増益

- 売上高はハウジング事業において住宅販売棟数が減少したことなどにより減少
- 営業利益はハウジング事業における売上高減少に加え、カーライフサポート事業において新車販売台数が減少したことから減少
- デリバティブ評価益（営業外収益）5.9億円計上により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加

（億円）

項目	18年11月期 2Q (17/12~18/5)	19年11月期 2Q (18/12~19/5)	増減率(%)	19年11月期 通期業績予想
売上高	1,083	1,071	△ 1.1	2,200
営業利益	54	47	△ 11.8	56
経常利益	48	56	17.7	60
親会社株主に帰属する当期純利益	33	38	15.3	38
1株当たり四半期純利益（円）	54.78	62.62	7.84	61.76

2019年11月期第2四半期 業績増減要因



2019年11月期第2四半期 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

資産・負債・純資産・自己資本比率の増減

(億円)

項目	18年11月30日	19年5月31日	増減	増減要因
資産	1,786	1,816	+ 29	商品及び製品、仕掛品の増加
負債	1,233	1,230	△ 2	短期借入金の増加、支払手形及び買掛金の減少
純資産	553	585	+ 31	利益剰余金の増加
自己資本比率(%)	30.3	31.6	+ 1.3	

キャッシュ・フローの増減

(億円)

項目	18年11月期 2Q (17/12~18/5)	19年11月期 2Q (18/12~19/5)	19年11月期 計画 (18/12~19/11)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15	11	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 43	△ 51	△ 114
財務活動によるキャッシュ・フロー	31	30	19

設備投資額・減価償却費

(億円)

項目	18年11月期 2Q (17/12~18/5)	19年11月期 2Q (18/12~19/5)	19年11月期 計画 (18/12~19/11)
設備投資額	58	58	119
減価償却費	33	31	70

2019年11月期の主な設備投資：サーラeパワーバイオマス発電所建物及び機械装置 37億円、都市ガス導管 28億円

エネルギー＆ソリューションズ事業

事業概要

都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、
電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

業績の概要

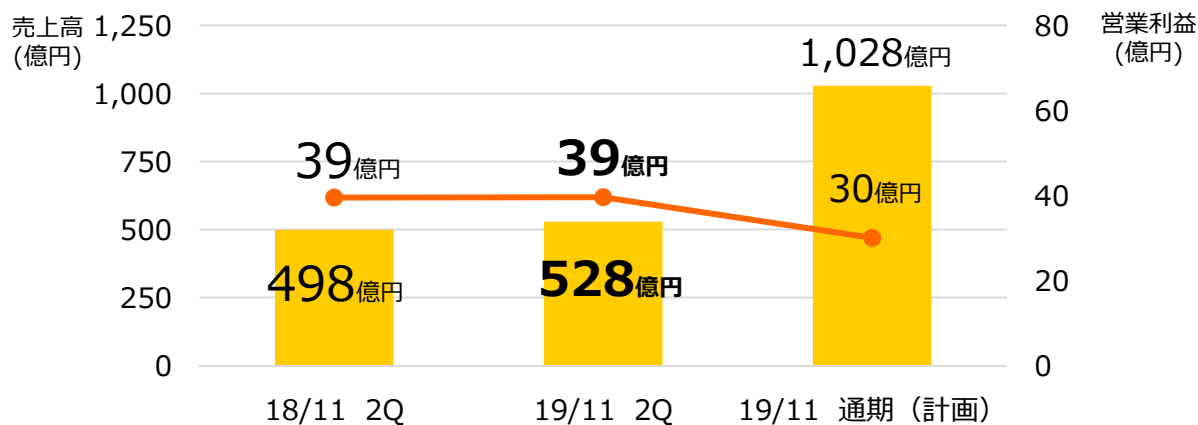
- 原料価格の上昇に伴う都市ガス販売価格の改定に加え、サーラの電気のお客さま数が増加したことから売上高は増加
- 利益面はLPガスの収益性改善に努めたことから、営業利益は微増
- ◆ 中部電力(株)と共同出資により設立した(株)CSエナジーサービスと連携し、法人のお客さま向けのガス開発を進める
- ◆ 東三河バイオマス発電所の稼働が下期の業績に寄与。通期の業績は計画どおり推移する見込み（季節要因により下期はガス販売量が減少し利益が圧縮される傾向にあるため、通期計画にはこれを織り込んでいる）



東三河バイオマス発電所稼働
(2019年7月、詳細は21ページ)

前年同期との比較 と通期計画

売上高 営業利益



エンジニアリング＆メンテナンス事業

事業概要

設備事業、土木事業、建築事業、トータルファシリティ事業、情報通信事業、ビル建材事業、メンテナンス事業

業績の概要

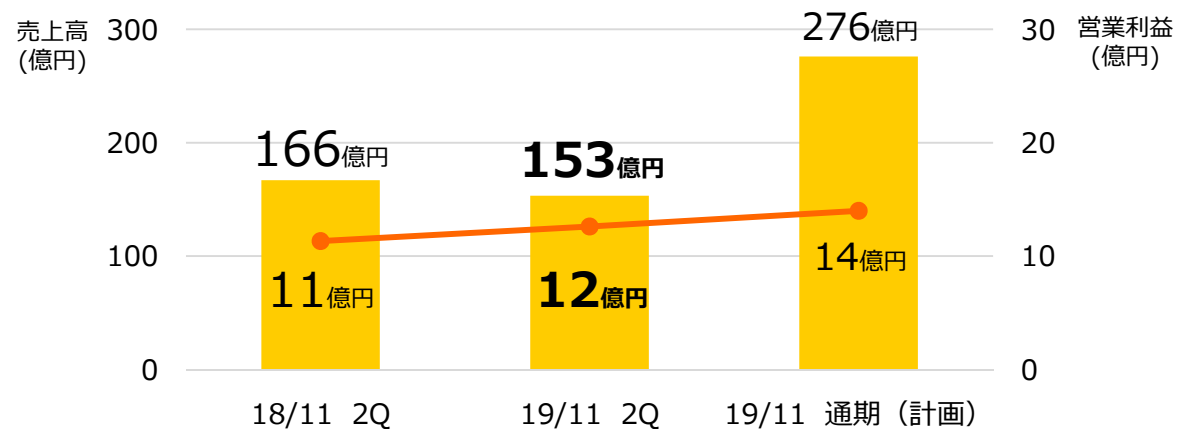
- 建築、設備工事両部門の完成工事が減少したため売上高は減少
- 土木部門の完成工事高の増加に加え、採算性を重視した受注の選別により利益率が高い水準を維持したため営業利益は増加
- ◆ セグメント内の連携強化や、各社の得意分野を活かした共同受注により事業領域の拡大に取り組む
- ◆ 各部門において受注物件の確実な当期施工に取り組むことより、通期の業績は計画どおり推移する見込み



「三遠南信自動車道」佐久間道路の川合トンネル（鈴木組施工）
※本自動車道の整備事業にはグループ会社4社が携わる

前年同期との比較 と通期計画

■ 売上高 ● 営業利益



ハウジング事業

事業概要

注文住宅の請負、分譲住宅の販売、建物のリフォーム請負、
建築資材・住設機器等の販売

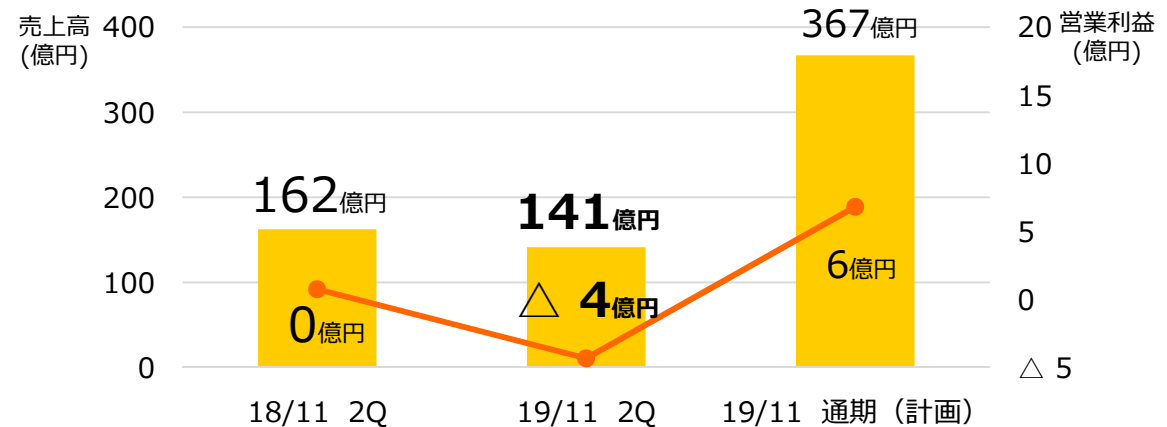
業績の概要

- 住宅販売部門において注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数が減少したため売上高は減少し営業損失を計上
- 住宅部資材加工・販売部門は、神奈川エリアにおいて好調な市況を背景に大口取引先からの受注が増加
- ◆ 共働き家庭のスタイルに合わせた新コンセプト住宅や、創業50周年を記念する住宅の販売を行う
- ◆ 受注済みの注文住宅の引渡しを確実に行うとともに、分譲住宅の販売を強化することにより通期の計画達成に向けて取り組む



前年同期との比較 と通期計画

■ 売上高 ● 営業利益



カーライフサポート事業

事業概要

フォルクスワーゲン9店舗・アウディ3店舗（正規ディーラー）、車検・整備

業績の概要

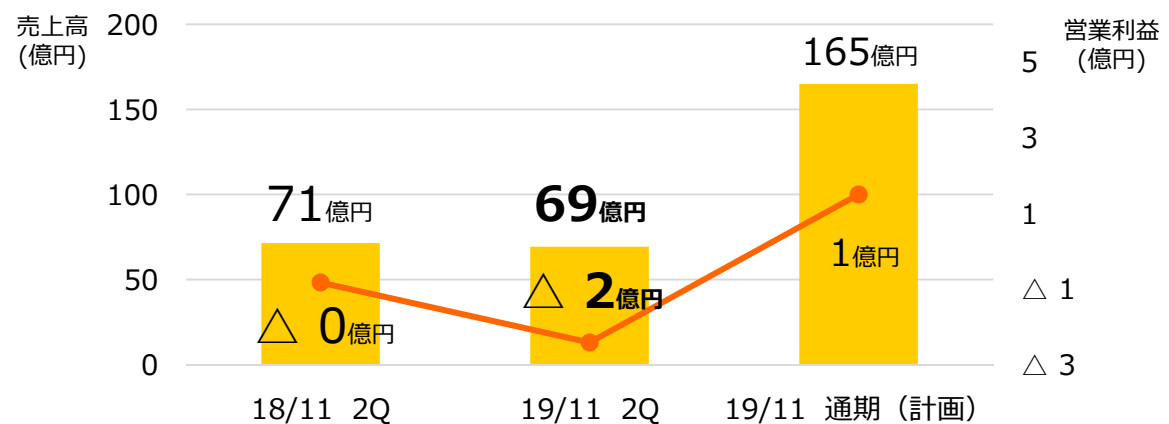
- フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数は増加
- 主力車種の出荷停止の影響などからアウディの新車販売台数が減少したため売上高は減少し、営業損失を計上
- ◆ サービス部門の業務改善を先行した2店舗に続き全店舗へ展開することにより、生産性の向上を図る
- ◆ フォルクスワーゲンは新型SUVやディーゼルモデルを提案し、アウディは出荷停止の影響がなくなるため新車販売に注力することにより、通期の計画達成に向けて取り組む



新「アウディ浜松店」外観（2019年1月オープン）

前年同期との比較 と通期計画

■ 売上高 ● 営業利益



アニマルヘルスケア事業

事業概要

動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

業績の概要

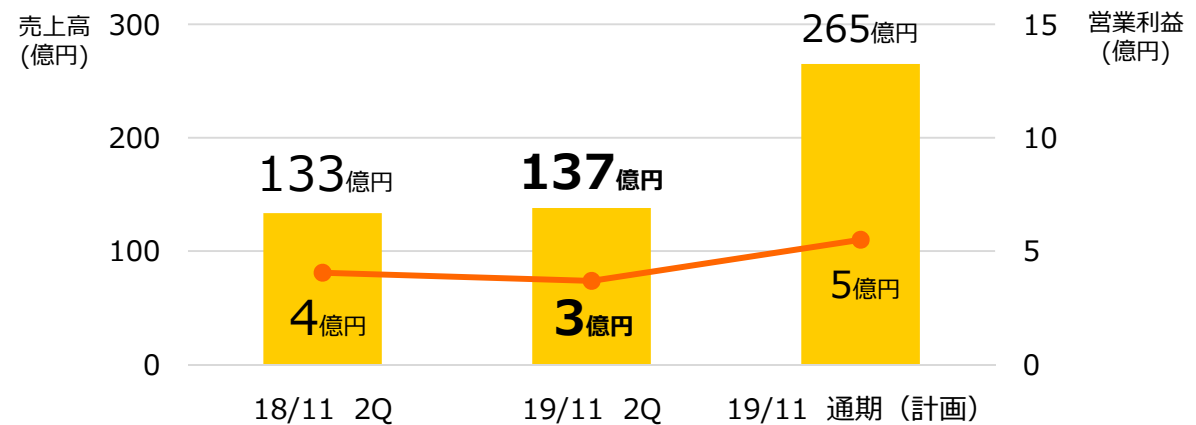
- 畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売が堅調に推移したため、売上高は増加
- 利益面はペット関連部門における利益率の低下や、販売体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減少
- ◆ コンサルティング営業の強化と、営業支援システムの導入による営業効率の向上によりさらなる収益力の向上を図る
- ◆ 豚コレラの影響は限定的で、通期の業績は計画どおり推移する見込み



畜産農家や動物病院などお客さまに対するコンサルティング営業を強化

前年同期との比較 と通期計画

■ 売上高 ● 営業利益



プロパティ事業

事業概要

不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

業績の概要

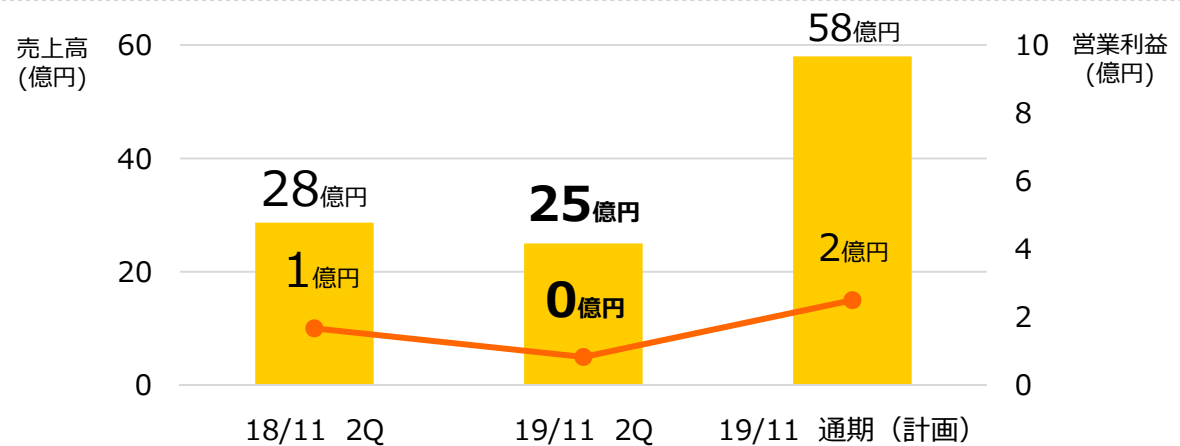
- 不動産仲介部門は堅調に推移したが、分譲部門における土地、建物の買取再販は買取件数が減少したため前年同期の実績を下回る
- ホテルアークリッシュ豊橋の業績は、ブライダルの挙式組数が減少したことから前年同期を下回る。以上により売上高は減少し営業利益は減少
- ◆ 豊橋駅前大通二丁目地区の再開発事業は、地域活性化につながるプログラムの推進や施設全体の価値向上に取り組む
- ◆ ホテルアークリッシュ豊橋におけるブライダル部門を強化するなど、通期の計画達成に向けて取り組む



豊橋駅前大通二丁目地区再開発ビル
「東棟」完成パース図（2021年6月竣工予定）

前年同期との比較 と通期計画

■ 売上高 ● 営業利益



2019年11月期 通期業績予想

- 通期連結業績予想（2019年1月11日公表）に変更なし
- エネルギー事業における増収増益などにより、売上高・営業利益・経常利益は**過去最高**を見込む
 - ・第2四半期はハウジング及びカーライフサポートセグメントの業績が計画を下回ったことから、売上高及び営業利益は予想数値を下回る
 - ・下期は両セグメントにおいて遅れを取り戻すべく重点施策に取り組む。他のセグメントは概ね順調に推移する見込み

通期業績

(億円)

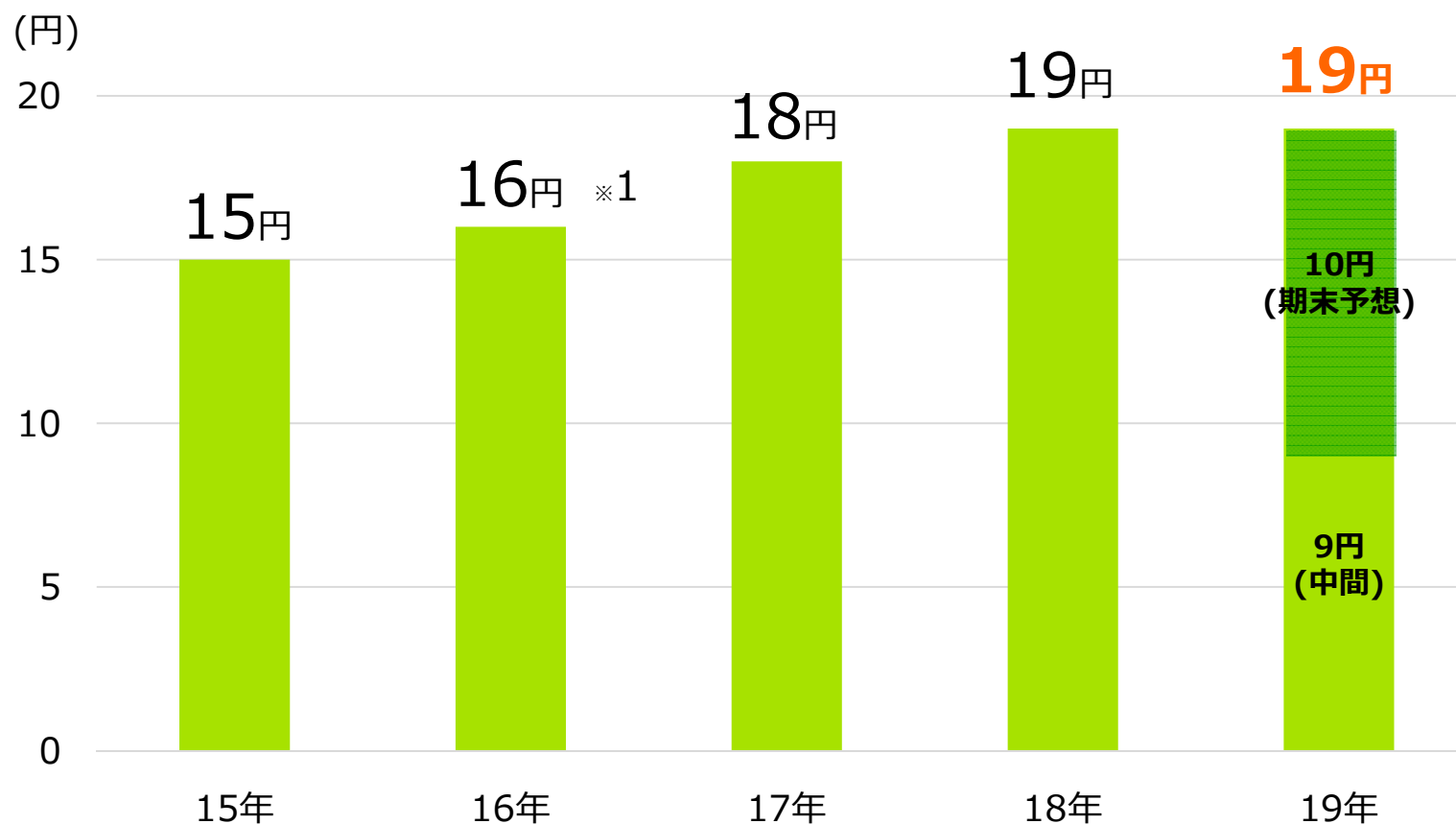
項目	18年11月期 通期実績	19年11月期 通期業績予想	増減額	増減率(%)
売上高	2,080	2,200	+120	+5.5
営業利益	54	56	+2	+1.9
経常利益	56	60	+4	+6.9
親会社株主に帰属する当期純利益	36	38	2	+4.0
1株当たり当期純利益（円）	59.60	61.76	+2.16	+3.6

2019年11月期 配当予想

配当の基本方針

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く
連結配当性向**30%**を目途として配当を行います。

- 中間配当金は当初公表どおり 1株当たり**9円**
- 期末配当金は**10円**を予想



※1 サラグループ再編を記念する記念配当2円を含む

第3次中期経営計画 (2016/12~2019/11)

第3次中期経営計画

2016年7月 サラグループ経営統合

中部ガス(株)とサラ住宅(株)を完全子会社化することにより、グループの迅速な意思決定と機動的な事業展開を行うことができる資本関係に再編しました。

2016年12月 第3次中期経営計画(3カ年)スタート

サービス体制から事業展開、組織運営に至るまで徹底してお客さま起点に見直し、「暮らしとエネルギーのSALA」として地域に広く浸透することを目指しています。業績に関しては概ね計画どおりに進捗しています。

	第1次 2011年～2013年	第2次 2014年～2016年	第3次 2017年～2019年	第4次～ 2020年～
長期目標	次なる時代の成長を見据えた基盤づくり			「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」の実現
方針・テーマ	グループの新たな挑戦	魅力あるグループへ	私のまちにはSALAがある ～暮らしとエネルギーのSALAへ～	
中心課題	グループ一体化による社内基盤の整備	整備した基盤を活かした顧客対応力の強化	新たな成長を可能にする基盤づくり (エネルギー事業の再構築、SALAの浸透)	
最終年度売上高	1,372億円	1,489億円	2,200億円(計画)	
最終年度経常利益	20億円	30億円	60億円(計画)	

第3次中期経営計画(2016/12~2019/11)の取組み状況

重点課題1 お客さま・地域との新たな関係づくり

- 2017年12月に中部ガス(株)とガステックサービス(株)の本社機能を統合するなど、段階的にエネルギー事業における組織再編を実施しました。2019年4月には、事業再編の総仕上げとして2019年12月1日付で両社を合併することを決定しました。
- 地域に密着した暮らしの総合サポート発信基地として、2017年4月に「サーラプラザ佐鳴台」をオープンしました。現在は、重点エリアの一つである愛知県豊川市において、「サーラプラザ豊川（仮称）」のオープン（2020年4月）に向けて準備を進めています。
- 2016年4月販売開始の「サーラの電気」は、2019年5月末日時点でお客さま数が3.6万件を超えました。（ガスのお客さま数約45万件）また、2019年11月からFIT制度に基づく買取期間が満了するお客さまを対象として、余剰電力買取サービスを開始します。
- 2017年12月設立の(株)サーラライフスタイルイノベーションにおいて、お客さまの住まいに関するグループ内の情報を一元化し、家の資産価値を維持・向上させる仕組みづくりに取り組みました。
- 中部ガス(株)は中部電力(株)と共同出資により、2018年10月に(株)CSEナジーサービスを設立し、法人向けにガス・電力の販売を開始しました。
- 地域の総合エネルギー企業として木質バイオマス発電所の建設を進め、2019年7月に営業運転を開始しました。
- 浜松エリアにおけるSALAブランドの浸透やお客さま関係強化にむけて、浜北スポーツ施設におけるネーミングライツ（施設命名権）を取得し、2019年4月より運用を開始しました。

重点課題2 魅力あるまち・暮らしづくり

- 2017年3月に愛知県豊橋市の市街地に分譲マンション「コクラハウス駅前大通三丁目」を竣工し、販売を完了しました。
- 豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業は、住宅事業計画、施設基本構想を策定し、2018年12月に東棟の建設工事に着工しました。中心市街地の活性化拠点となる基本構想について、シェアリングビジネスを含めて具体化を進めるとともに、マンションの販売開始にむけて準備を進めています。
- 県営東浦住宅団地再生事業（愛知県知多郡東浦町）への参画が決定し、サーラ住宅は戸建て用地62区画の供給を行うほか、子育て支援施設の整備、世代間交流の促進、地域の防災・防犯機能強化等の役割を担います。

重点課題3 社員が誇れる会社づくり

- 2018年6月に56歳到達時の現行処遇に関する人事制度の改定を実施しました。
- 社員の働き方に対する具体的な課題を抽出し、実行計画を策定するとともに、働き方改革（労働時間の短縮、業務効率化、生産性向上）実現に向けた改善P D C Aをグループ全体で展開しています。

第3次中期経営計画(2016/12～2019/11)で実現できていないこと

2016年のサーラグループ経営統合を経てグループ一体となった経営や事業展開は行われているものの、経営統合による効果、シナジー発揮という面では十分ではない。

「お客さま・地域との新たな関係づくり」 に関連した取組み



環境変化

- 超高齢社会が到来し、人口減少・世帯数の減少が始まっており、特に地方都市部とその周辺ではその影響が今後顕在化してくると想定されます。
- エネルギーマーケットでは電力・ガス小売全面自由化により事業環境は大きく変化し、異業種など新規参入者を含めた競争は激しさを増しつつあります。
- モノ・サービス・情報があふれる成熟化社会となり、ICTの進展もあいまって、お客さまのニーズはますます多様化・個別化しています。

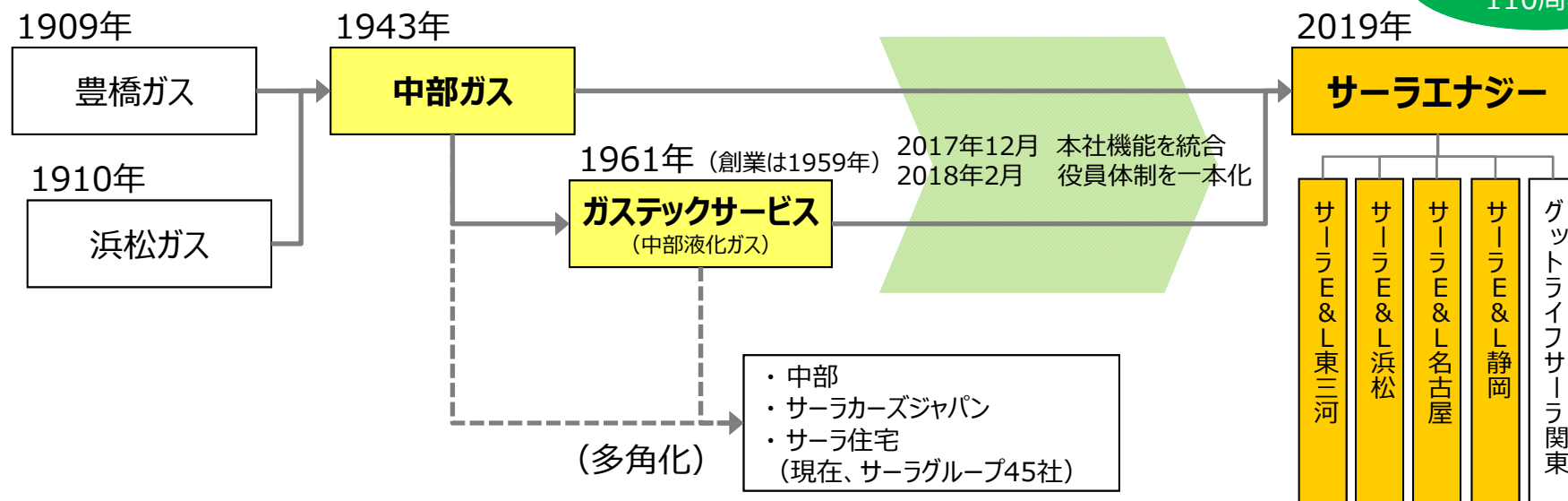


お客さまから選ばれ続け、サラグループのエネルギー事業が継続的に成長していくために本再編を実施

- ✓ これまでの「都市ガス」「LPガス」という会社別・商品別のサービス提供スキームを
 - ① **お客さま起点**（個別のお客さまニーズへの対応）
 - ② **地域軸**（地域に根ざし地域とともに発展する）を主とする体制と仕組みへ変革します。
- ✓ 両社の経営資源の効果的・効率的な再配置を通じて、収益性と競争力を高めます。

エネルギー事業の再編

サーラグループ
110周年



2002年 5月
2016年 7月
2019年12月

(株)サーラコーポレーション設立
サーラグループ経営統合 (当社による中部ガス(株)・サラ住宅(株)の完全子会社化)
都市ガス事業の中部ガス(株)とLPガス事業のガステックサービス(株)を**2019年12月1日**に合併し、
社名を「**サーラエナジー(株)**」へ変更
サーラエナジー(株)子会社として事業エリア毎に地域に根ざした総合生活サービスを提供する販売会社
「**サーラE&L**」4社を設立 ※Eはエナジー、Lはリビング (暮らし・住まい) とライフ (生活) を意味しています。

- ◆ サラエナジー(株)は都市ガス、LPガス、石油などエネルギー事業の基盤機能 (ガス小売、都市ガス導管事業、ガス供給保安など) を担い、商品・サービスの企画・開発や法人のお客さまへのサービス提供を行います。
- ◆ 地域販社であるサーラE&L各社とグッドライフサーラ関東(株)は、一般家庭のお客さま (商業・業務用のお客さまを含む) 向けにガス・電気などのエネルギーとリフォームをはじめとする住まいに関する総合的なサービスの提供を行います。

「暮らしのサーラ」(一般家庭のお客さま及び商業・業務用のお客さま向け)

- 地域版社「**サーラE&L**」4社及び「グッドライフサーラ関東(株)」が、地域のお客さまの豊かでしあわせな暮らしを実現するためのガス・電気等のエネルギーと暮らし・住まいに関する総合生活サービスを提供します。
- お客さまの住まいや資産に関するお困りごと・お悩みを解決する提案をより一層充実します。
- 地域に密着した暮らし・住まいの相談場所として**サーラプラザ**(12店舗)等の店舗と、お客さま宅へ素早く駆けつけられる**サービススタッフ**がお客さまの情報とニーズを把握して最適なサービスを提案・提供します。
- サーラグループ各企業のみならず地域企業とのアライアンスにより、お客さま提供サービスの拡充を進めます。

「ビジネスのサーラ」(法人のお客さま(製造業、大規模商業店舗、医療機関)向け)

- 「**サーラエナジー(株)**」が、ガス・電気・石油等のエネルギー供給とお客さまの事業における課題を解決するビジネスサービスを提供します。
- 「労働力不足」や「これまで以上の省エネルギーの促進」など、社会経済環境変化によるお客さまニーズに対応する商品・サービスを重点的に提案・提供します。
- エネルギーの専門性に磨きをかけ、お客さまニーズに適応する最適エネルギー利用の創出と提案を進めます。
- 地域企業とのアライアンスを推進し、地域産業の発展に貢献します。

2019年7月1日に 東三河バイオマス発電所が 営業運転を開始

● 東三河バイオマス発電所

電力の地産地消の取組みの一つとして、木質バイオマス発電所を建設し営業運転を開始しました。総合エネルギー企業として地域のお客さまの期待に応えるため、電力事業の強化に取り組んでいます。

発電所名	東三河バイオマス発電所
建設地	愛知県豊橋市新西浜町2-10
発電規模	22,100 K W
年間発電量	約1億5,000万 k W h (一般家庭約4万世帯分に相当)
燃料	主燃料：輸入材 (主にPKS〔パーム椰子殻〕など) 副燃料：東三河、遠州などの間伐材等
総事業費	約100億円
売上高 (年間/上段) (2019年度/下段)	約40億円/年 約17億円 (7月～11月の5ヵ月間)
営業利益 (年間/上段) (2019年度/下段)	約6.0億円/年 約2.8億円 (7月～11月の5ヵ月間)



東三河バイオマス発電所



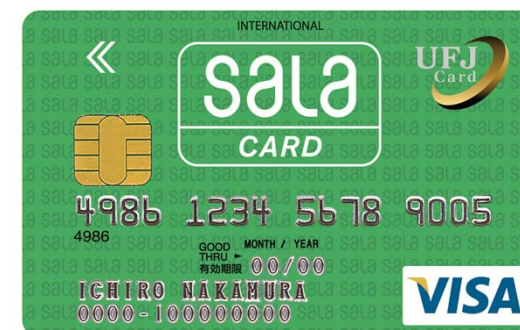
マレーシアから初入港した輸入船に積載されたPKS

FIT期間満了後における 住宅用太陽光発電の 余剰電力買取サービスを開始

●余剰電力買取サービス

電力事業の強化に向けた取組みの一つとして、ソーラeエナジー(株)は2019年11月以降にFIT制度に基づく買取期間が満了するサービス対象エリア（愛知、岐阜、三重、静岡/一部エリアを除く）のお客さまを対象に、住宅用太陽光発電の余剰電力買取サービスを開始します。

サービス開始日	2019年11月1日（予定）	
申込受付開始日	2019年6月30日	
サービス内容	FIT期間満了を迎えた住宅用太陽光発電の余剰電力をソーラe エナジーが買い取り、買い取った電力量に応じてソーラカードポイントに交換し付与します。	
プランランナップ		
	基本買取プラン A	基本買取プラン B
適用対象	ソーラのガス・電気を利用	他社のガス・電気を利用
買取価格	10.0ポイント/ k W h （≒10円相当）	8.0ポイント/ k W h （≒8円相当）



「ソーラカード」

[会員数：約13万人 取扱高：約470億円/年]

ガス料金の支払いなど様々なシーンでポイントがたまり5,000ポイントたまる毎に、5,000円分のギフトカードが面倒な手続きなしで自動交換されます。

その他の取組み

- ✓ 対象機種のエネファームで発電した余剰電力の買取（当社のガス・電気ご利用の方に限る）
- ✓ 対象会社でリフォーム工事を行った場合に、中部電力(株)のカテエネポイントを付与（中部電力(株)と電気需給契約があるなど諸条件を満たした方に限る）

13店舗めとなる 新たなコミュニティプレイス サーラプラザ豊川（仮称）を着工

●サーラプラザ豊川（仮称）

愛知県豊川市エリアは当社グループの重点エリアで、都市ガスの導管の延伸等により需要拡大に取り組んでおり、エネルギーシェアを現在の約32%（お客さま件数24千件）から中長期的に52%（同39千件）へ拡大を目指しています。

サーラプラザ豊川では当社グループ各部門が連携し、エネルギーや住まい・暮らしに関する情報を総合的に発信します。ショールームやリフォームの相談窓口を設けるほか、直営のレストランやアカデミー、セミナーイベント等を通じて、地域のお客さまの新たな交流の場づくりを目指します。

また、非常用発電機やマンホールトイレなどを備え、災害時におけるインフラ復旧の活動拠点としての役割を担います。



「サーラプラザ豊川（仮称）」完成予想図

<概要>

住所	愛知県豊川市豊川町78-1、78-3
敷地面積	4,222.13㎡（1,279.4坪）
延床面積	2,084.92㎡
建物構造	鉄骨造2階建て
営業開始	2020年4月（予定）
総工費	約8億円

E & Mセグメントの中部は 愛知県芸術劇場大ホールの リニューアルに貢献

(株)中部の設備工事部門は、中部圏最大の芸術文化拠点である名古屋市の愛知県芸術文化センターの改修工事において、空調と管工事を担当しました。

同社は今回の大規模な改修工事のうち、各施設の空調機のオーバーホールや冷温水配管の更新、空調ダクト内部の清掃、洋式トイレへの改修、スプリンクラー設備の更新などを手掛けました。

このうち、2019年4月に同センターの愛知県芸術劇場大ホールの改修が完了し、リニューアルオープンしました。

●本リニューアル工事において中部が担当した空調・管工事

時期	施設名	完成工事高
2017/3 ～2018/10	愛知県美術館 愛知県芸術劇場コンサートホール	536 百万円
2018/4 ～2019/3	愛知県芸術劇場大ホール	520 百万円



愛知県芸術劇場大ホールの空調工事

・「マッシュルーム」(天井付近からの空調吹き出しを床下で吸い込み空気を循環させる)を観客席の床下に埋め込む様子



愛知県芸術劇場コンサートホールの空調工事

サーラ住宅は 宮下工務店の子会社化により 浜松市北部エリアにおける 事業基盤を強化

●宮下工務店（静岡県浜松市）子会社化

サーラ住宅(株)は浜松エリアにおける住宅販売のシェアが豊橋エリアと比較すると低い状況にあるため、同エリアを重点強化エリアに定めています。

このような状況のなか、サーラ住宅(株)は2019年6月に静岡県浜松市北部エリアにおいて注文住宅の請負や土地分譲、土地付注文住宅の販売に取り組む(株)宮下工務店の全株式を取得し子会社化しました。

サーラ住宅(株)は(株)宮下工務店の子会社化に伴い、同社から年間20～30区画の土地の購入を見込み、分譲住宅や土地付注文住宅の販売につなげます。

(株)宮下工務店はサーラ住宅(株)の資金調達力などを活かして、用地調達量の拡大を図ります。

名称	株式会社宮下工務店		
所在地	静岡県浜松市北区初生町964番地の2		
代表者の役職・氏名	代表取締役会長 山口 信仁 代表取締役社長 宮下 祐治		
事業内容	注文住宅の設計・施工・監理・販売 不動産の売買・仲介		
資本金	10百万円		
設立年月日	1988年9月7日		
発行済株式数	200株		
大株主及び持株比率	サーラ住宅株式会社 100%		
当該会社の最近の経営成績及び財政状態 (単位：百万円)			
決算期	2016年5月	2017年5月	2018年5月
純 資 産	692	763	831
総 資 産	1,030	1,080	1,062
売 上 高	1,159	1,189	1,082
営 業 利 益	76	98	79
経 常 利 益	82	103	84
当 期 純 利 益	55	70	68

(ご参考)

サーラグループの概要



会社概要及び株式の状況



会社概要

商号	株式会社サーラコーポレーション	
設立	2002年5月1日	
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー	
資本金	80億2,500万円	
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 代表取締役専務 取締役 取締役 取締役 取締役（社外） 取締役（社外） 監査役（常勤） 監査役（社外） 監査役（社外）	中村捷二 神野吾郎 松井和彦 鳥居 裕 山口信仁 樽林孝尚 一柳良雄 石黒和義 山本卓治 杉井 孝 村松奈緒美
従業員数	3,991名（連結）	

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	66,041,147株 （自己株式9,180株を含む）
1単元の株式数	100株
株主数	10,844名

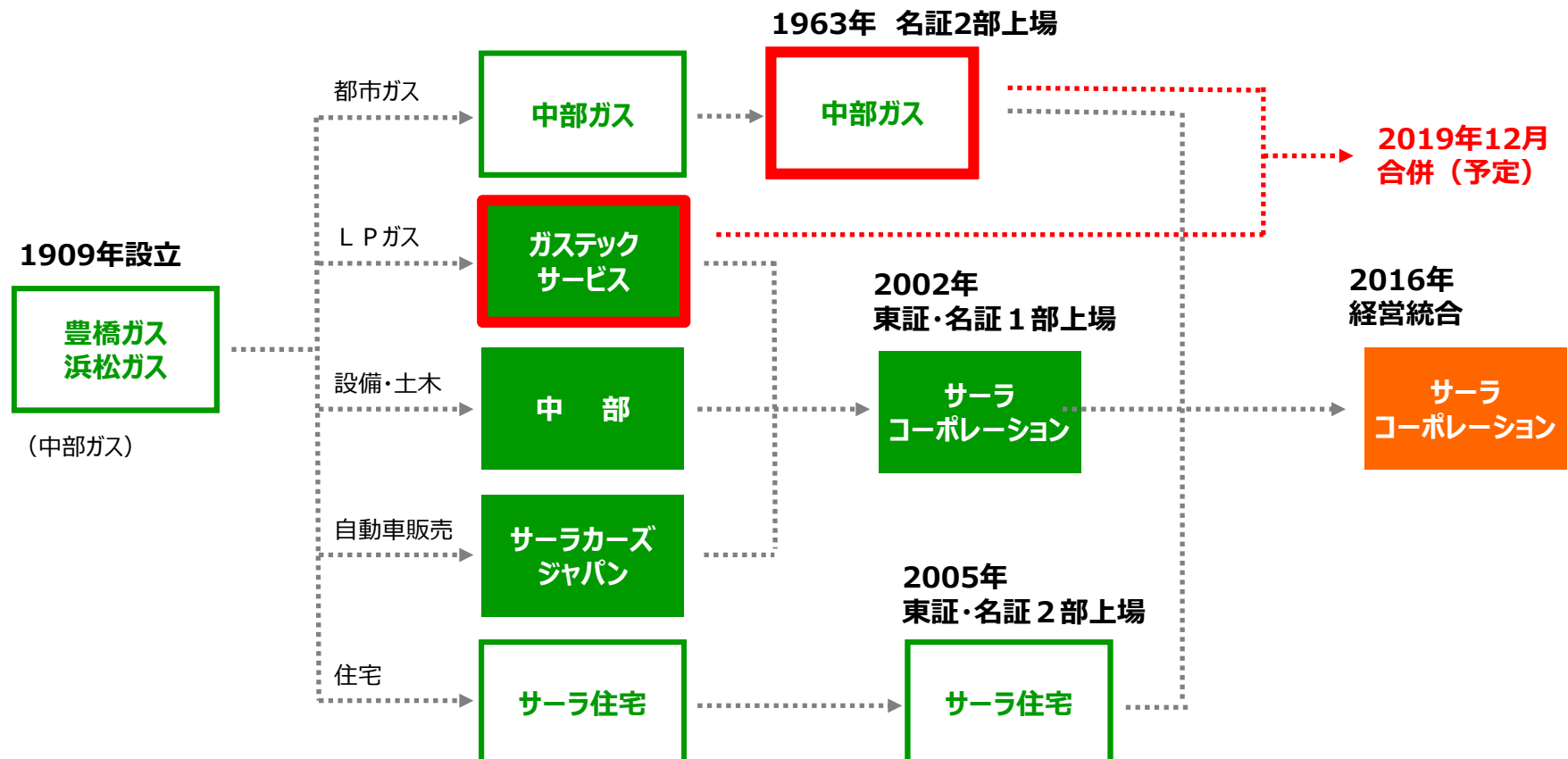
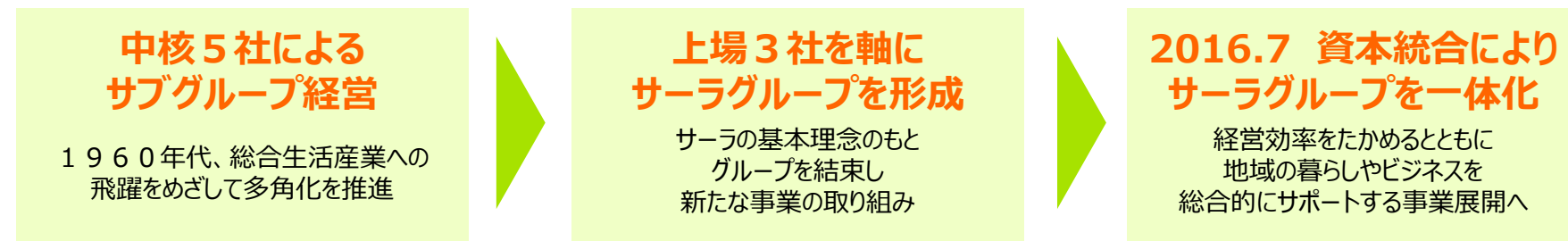
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
サーラコーポレーション従業員持株会	4,207	6.37
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口）	3,483	5.27
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （信託口）	2,128	3.22
ガステックサービス共栄会	2,099	3.17
野村信託銀行株式会社（サーラコーポ レーション従業員持株会専用信託口）	1,666	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口4）	1,598	2.42
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

（2019年5月31日現在）

sala
SALA GROUP



グループ会社45社（連結子会社37社、非連結子会社7社）

※ 太字は主要子会社
(2019年5月31日現在)

ソーラコーポレーション	エネルギー＆ソリューションズ (エネルギー・生活サービス事業)	中部ガス 、ガスリビング中部、ガスリビング浜松西部、ガスリビング浜松北部、ソーラガス磐田、ソーラeエナジー、ソーラeパワー、 ガステックサービス 、グッドライフソーラ関東、ソーラ物流、リビングソーラ、ソーラの水、三河湾ガスターミナル、日興、神野オイルセンター、中部プロパンスタンド、浜松プロパンスタンド、KANTOH
	エンジニアリング＆メンテナンス (土木・建設・設備事業)	中部 、神野建設、鈴木組、中部技術サービス、テクノシステム、西遠コンクリート工業、トキワ道路、昭和クリーナー、中部ビルサービス、誠和警備保障
	ハウジング (住宅建設・販売事業)	ソーラ住宅 、中部ホームサービス、太陽ハウジング、ソーラハウスサポート、エコホームパネル
	カーライフサポート (輸入車販売事業)	ソーラカーズジャパン
	アニマルヘルスケア (動物用医薬品販売事業)	アスコ 、大和医薬品工業
	プロパティ (不動産関連事業)	中部ガス不動産 、ソーラホテル＆レストランズ、ソーラスポーツ
	その他	ソーラフィナンシャルサービス、ソーラビジネスソリューションズ、ソーラライフスタイルイノベーション、新協技研、エス・アール・ピー

東三河・遠州エリアを中心に、宮城県から山口県まで

21都道府県・**333**カ所に展開

中国地方 **7**カ所

エネルギー & ソリューションズ
アニマルヘルスケア

関西地方 **2**カ所

アニマルヘルスケア

東北地方 **6**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
アニマルヘルスケア

東海地方 **282**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
ハウジング
カーライフサポート
アニマルヘルスケア
プロパティ

関東地方 **36**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
ハウジング
カーライフサポート
アニマルヘルスケア

(2019年5月31日現在)

より良い暮らし・住まいのサービス提供



戸建住宅

不動産

マンション

リフォーム



輸入車

宅配水

工場・病院などビジネスユーザーのサポート



省エネ

リニューアル

保険

動物薬

設備

IT

物流

住宅建築・販売管理棟数
約**2万戸**

サーラカード会員数・取扱高
約**13万人**：470億円/年
サーラプラザ
12店舗展開

輸入車販売・中古車販売
12店舗展開：5店舗展開
管理顧客数
約**2万件**

暮らしやビジネスにおける
さまざまなシーンでお客さまに
最適な商品・サービスを提供



都市ガス 約**23万件**
LPガス 約**22万件**
電気 約**3.6万件**

エンジニアリング
&
メンテナンス
(社会インフラ整備)

動物用医薬品業界シェア
トップクラス

にぎわい・元気のあるまちの創造



まちづくり

ホテル

スポーツ

サーラクラブ

サーラプラザ

レストラン

カルチャー

豊かなまちのインフラ整備・メンテナンス



都市ガス

電力・水素

建築

設備

LPガス

CATV

土木

メンテナンス

サーラグループの地域貢献活動

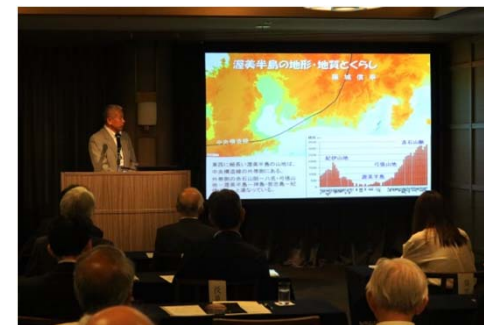
●文化・芸術支援

ギャラリーの運営や地域オーケストラの支援など文化振興に貢献しています。



●教育支援

大学院生への奨学援助のほか、地域の教育・文化活動に助成を行っています。



●スポーツ支援

オフィシャルスポンサーとして、プロスポーツ「ジュビロ磐田」と「三遠ネオフェニックス」を応援しています。

また、スポーツを通じた地域の少年・少女の健全な育成を目的とした大会への特別協賛を実施しています。



(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション 総務部 総務グループ

TEL : 0532-51-1182 FAX : 0532-51-1154